

身の回りにおけるテクノロジー（アルテク） を利用した支援

いわぶち まもる
巖淵 守

アルテクを利用した学習支援

- 従来の専用機器の機能を一般製品でカバーし、導入を容易に
 - 誰もが利用可能
 - 低コスト
 - 心理的な抵抗感も小さく
- 能力の「補償」から「増強」へ

アルテクの利用と未来

- ウェアラブル化？
 - センシング型
 - 能力拡張型
- 身体の一部となる機器
 - センサーやLEDを内蔵したコンタクトレンズ
 - 圧力や温度を感じるロボットスキンなど

人と一体化する技術がもたらす超人的能力は何か？

人間の考え方や行動は急速に変わらない？

インタフェースの改良によってイノベーションを起こす

アルテクが引き出す能力

重度重複障害のある子どもを客観的に理解

- カメラやセンサーを利用した観察



わずかな反応や随意性の抽出

認知面の理解

残存機能の活用

ログの活用

普段の活動の中で利用するICT機器の操作ログから
認知能力評価を自動的に行うことのできる
クラウドサービスの構築

